

平成24年度長野県農業大学校評議委員会ご意見・ご提言

長野県農業大学校

項 目	ご意見・ご提言
教育活動について	<p>・高校においても、基礎学力とメンタル面の対応が課題である。メンタル面では、担任が生徒と面談集会を行いながら生徒の心の叫びを聞きとるようにしている。</p>
	<p>・コース人数に偏りがあっても、十分なプロジェクト活動ができるよう、ほ場を確保するなど前向きに取り組んで欲しい。</p>
	<p>・生活指導では、先生方にご苦勞いただいていることを感謝申し上げます。農大は、小中高、家庭で生活態度がしっかりできていない子の最後の砦である。これからも尽力願いたい。</p>
	<p>・今年、箱根駅伝で優勝した日体大の監督の話だが、選手の生活習慣を直したという。基本的な生活習慣を鍛え、学生全員が立派な社会人になることを願っている。</p>
	<p>・新コースでは、現地体験実習が3か月となるそうだが、2か月は海外で、1か月は日本で行うとか、温室1棟を持たせて栽培から販売まですべて任せるとしたらどうか。人とのコミュニケーションができない者が、作物とコミュニケーションができるかという疑問である。国際性を持たせ、海外を意識することが必要である。</p>
学校運営について	<p>・学習意欲のない者は、やめてもらってもかまわないと思う。</p>
	<p>・既存コースが残ることに安心している。田舎暮らしを求める人がいるなど農業・農村に対するニーズは多様化している。日本一の農大を目指していることに期待する。</p>